筑波学院大学は、日本国際学園大学に生まれ変わります



2024年4月、茨城県、宮城県で待ち望まれた「国際・語学系大学」ついに開学! 国際教養、英語に加え、未来と繋がる公務員・ビジネス・AI・情報・コンテンツデザインの学び

日本国際学園大学4年間の学び

IIU モデル

本学では、国際性・語学力を高めながら、就職を見据えた多彩な実践教育を行います。その教育カリキュラム体系を 本学では「IIU モデル」といい、目指す職種ごとにモデル別のカリキュラムに沿って学びます。 ※「JIU」とは、「日本国際学園大学/JAPAN INTERNATIONAL UNIVERSITY」の略称です。



つくばキャンパス

TSUKUBA campus



つくばキャンパス

はこちらから

- 国際教養 (グローバルキャリア、大学院進学)モデル
- 英語コミュニケーションモデル
- 現代ビジネス(企業総合職、地域づくり、経営者、 起業家)モデル
- 公務員 (行政職、警察官、公的サービス)モデル
- AI・情報 (DX、ウェブデザイナー、プログラマー、 データアナリスト)モデル
- コンテンツデザイン (グラフィック、イラスト、動画、 アニメーション)モデル
- 日本文化・ビジネス(国際学生・留学生対象)モデル





仙台キャンパス SENDAI campus

はこちらから

- 国際教養(グローバルキャリア、大学院進学)モデル
- 英語コミュニケーションモデル
- 現代ビジネス(企業総合職、地域づくり、経営者、 起業家)モデル
- 国際エアライン (CA、グランドスタッフ)モデル
- 国際ホテル(フロントサービス、料飲、ホテル総合職)モデル
- 日本文化・ビジネス(国際学生・留学生対象)モデル

多彩な学びを通して人間力、国際力、社会力をもった 学生の幸せな人生をサポートします

令和5年度(2023年度) 筑波学院大学 入試日程を公開しています

筑波学院大学公式LINEにて随時公開中!▶▶▶



くば21C教育フォーラム』を読みませんか?

筑波学院大学21世紀型教育研究所は、研究所報『つくば21C教育フォーラム』を季刊で発行しています。 本学をはじめ高校での先端的な教育への取り組みをご紹介し、教育関係者の皆様のご参考にしていただけ るよう、茨城県内だけではなく県外の高校にもお送りしています。高校関係者の方々で、送付をご希望の 方には対応させていただきます。本学入試グループ(nyushi@tsukuba-g.ac.ip)までご連絡ください。

発 行: 筑波学院大学21世紀型教育研究所

発行日: 2023年1月

住 所:〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3丁目1番地

電 話: 029 - 858 - 4811(代表)

2につくば21C教育フォーラム

筑波学院大学21世紀型教育研究所報 第6号

筑波学院大学21世紀型教育研究所主催 高校生コンテスト2022開催

筑波学院大学 教員インタビュー

English Summer Camp 2022開催





大学教員とつうボ研究しませんか?

新城草 為



高校生コンテスト2022

筑波学院大学 高校生コンテスト2022開催

21世紀型教育研究所は、高校から大学への教育のスムーズな接続を促す「高大連携事業」の一つとして、 「高校生コンテスト2022」を開催しました。

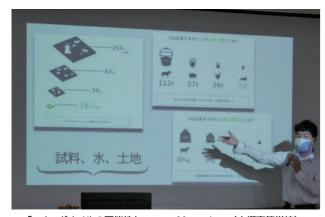
本コンテストは高校生と大学教員のコラボレーションによって研究を進め、成果を競うものです。4つの 部門において計13チームが参加し、2022年7月から9月にかけて本学の教員や在学生の指導を受けました。10月22日に行われた表彰式では、各部門で最優秀賞を受賞したチームの成果が披露されました。

受賞結果

ビジネスアイデア部門

最優秀賞:「コオロギオイルの可能性」 team: Masushap(本郷高等学校) 奨励賞:「れんこんギョーザ」

team: そら豆ズ(石岡商業高等学校)



「コオロギオイルの可能性」 team: Masushap (本郷高等学校)

【ビジネスアイデア部門最優秀賞へのコメント】 評者:大田住吉教授

チーム「Masushap」は、高校の中で考えるだけに留まらず、4つの企業へのヒアリング調査を実施しました。これは素晴らしいことです。テストマーケティングやアンケート調査を通じてインターネット上に出ていない情報を自分の足で見つけ自分で確かめることは、大変重要です。「Masushap」はこの点において素晴らしい活動をし、それが今回の最優秀賞受賞の最大の理由となっています。また、発表に使用したパワーポイントも、1年生でありながら大変レベルが高く、よくまとめられていました。

【ビジネスアイデア部門最優秀賞受賞チームのコメント】 team:Masushap(本郷高等学校)

昆虫食は以前からあたためていた分野だったので、昆虫に関するテーマでその集大成ができてよかったと思います。内容としては結構満足のいくものができました。特に、実際に企業の方に取材できたのがよかったと思います。それによって自分たちが知らない情報を得ることができました。また、作成したオイルを実際に人に使ってもらえたのも、いい経験でした。

アプリ開発部門

最優秀賞:「Car Teacher〜車の魅力を色々な人々へ〜」 team:コアラの原子モデル(水戸工業高等学校) 特別賞:「フラワーパーク位置情報付きweb マップ」 team:桜花(石岡商業高等学校) 奨励賞:「水戸工業高校の購買状況視認アプリ」

奨励賞:「水戸工業局校の購買状況視認アプリ team:水工情報科(水戸工業高等学校) 奨励賞:「スマホ早打ちフリック入力ゲーム」 team:MTHSIT(水戸工業高等学校)

奨励賞:「食品ロスをなくすためのアプリ」 team:水工女子(水戸工業高等学校)



「Car Teacher ~車の魅力を色々な人々へ~」 team:コアラの原子モデル(水戸工業高等学校)

【アプリ開発部門最優秀賞へのコメント】 評者:高藤清美教授

本部門では、アプリのアイデアを出すだけでなく、ある程度動かすことができるかどうかが評価の大きなポイントでした。チーム「コアラの原子モデル」は、最初は非常に難しいテーマに取り組んでいたのですが、相談をする中でわかりやすいテーマに変更し、身近なテーマでアプリを開発しました。それが受賞の最大の決め手となったと思います。メンバー間の連絡も密に取れており、協力して開発に取り組んでいたのもよかったです。

【アプリ開発部門最優秀賞受賞チームのコメント】 team:コアラの原子モデル(水戸工業高等学校)

今回このコンテストに参加することで、アプリ開発の大変さが学べました。友達と一緒によいアプリが作れたと思います。苦労したのは、GPSで距離を測る機能がなかなか作れなかったことです。開発までの時間もなかったので、とにかくできるところまで作りました。コード開発などは、自分たちにはまだ力不足だと痛感しました。

「わが校自慢」のCM作り部門

最優秀賞:「生徒の夢は学校の目標」 team:る〜らりずむ(江戸川学園取手高等学校) 特別賞:「Clear creative world」 team:STUDIO・KASAMA(笠間高等学校) 奨励賞:「I SEE YOU HIGH SHOE」

team:ドンタコス(国際基督教大学高等学校) 奨励賞:「筑波高校の魅力を伝える CM 作り」 team:フリーダム(筑波高等学校)

奨励賞:「水工の魅力」 team:水工太郎2年(水戸工業高等学校)



「生徒の夢は学校の目標」 team:る~らりずむ(江戸川学園取手高等学校)

【「わが校自慢」のCM作り最優秀賞受賞チームへのコメント】 評者:高嶋啓教授

動画はいろいろな工程を経て1つの作品になります。 演者、撮影、録音など、チームが一致してひとつの方向 に向いているというのが、いい作品作りの条件です。そ して一番大事なのは、見ている人の気持ちを動かすこと です。

チーム「る~らりずむ」の作品は、先生が生徒たちと 楽しそうに会話をしている様子が大変印象的でした。ま た、テクニック的に手がかかるアフレコを5チームの中で唯一取り入れていました。1つ1つの映像が音に合わせて丁寧に編集され、作品としてのクオリティが秀逸で、ほぼ満場一致での最優秀賞でした。「る~らりずむ」の皆さんには大いに自信を持ってほしいと思います。

【「わが校自慢」のCM作り最優秀賞受賞チームのコメント】 team:る~らりずむ(江戸川学園取手高等学校)

今回の CM のコンセプトは、「勉強以外の本校の良いところをアピールすること」です。勉強だけでなく、部活や趣味に取り組む楽しさや、先生のサポートの厚さなどを表すシーンを取り入れました。

制作にあたっては、どんな映像を作りたいのか、チームとしてまとめるのが大変でした。学校の文化祭が10月にあり、その準備の合間を縫って仕上げたので、いただいたアドバイスを反映できないところもありましたが、一応形にはできたので満足しています。

世界遺産プレゼンテーション in English

最優秀賞:「Trip in kyoto」 team:i-Project(水戸葵陵高等学校)



「Trip in kyoto」team: i-Project (水戸葵陵高等学校)

【世界遺産プレゼンテーションin English 最優秀賞へのコメント】 評者:浅見道明教授

「なぜ、水戸の高校生が京都についてプレゼンテーションを?」という疑問もあるかもしれません。チーム「i-Project」は、美しい写真が使えるから、という理由で、題材に京都の世界遺産を選びました。私もそうでしたが、京都に17の世界遺産があるということを知らない人も多いと思います。美しい写真をふんだんに使い、さまざまな情報を入れた「i-Project」のプレゼンテーションは、とてもわかりやすく、よい発表でした。本部門は1チームのみの参加でしたが、複数のチームが参加していたとしても、

「i-Project」は最優秀賞を受賞できたと思います。

【最優秀賞受賞チームのコメント】 世界遺産プレゼンテーションin English部門 team:i-Project(水戸葵陵高等学校)

緊張で声が詰まってしまい、思うようにプレゼンができなかったのが心残りです。原稿は準備したのですが、 人前では緊張して、力を十分に発揮できませんでした。

筑波学院大学 教員インタビュー



総合コース 情報・デザイン専攻 **宝崎 隆祐 教授**

プロフィール

神戸大学大学院自然科学研究科博士課程 修了学術博士(システム科学)

専門分野

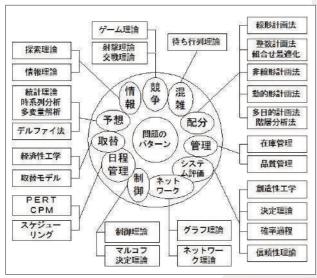
数理工学、応用数学

専門について

私の専門分野は、数理工学と応用数学です。数理工学では、応用数学を使って世の中の様々な問題を解決するツールを提供します。

オペレーションズ・リサーチとは

数理工学の中でも、特にオペレーションズ・リサーチ (OR) を専門としています。オペレーションとは、軍事では「作戦」のこと、社会全般においては人間の活動そのものを意味します。ORは、第二次世界大戦中にナチスがイギリス本土へ侵攻しようとした際にイギリス側がレーダーを開発し、またこれを効率的に用いて阻止したことから始まりました。その後アメリカに伝わり、より学問的になって、現在は大学の中でもオペレーションズ・リサーチや数理工学という名称でカリキュラムに加えられています。



オペレーションズ・リサーチの提供する手法

戦後の日本では、特に産業界における生産管理の分野で、品質の良い製品をいかに効率良く生産するかという問題の解決にオペレーションズ・リサーチが利用されました。現在では例えば、航空会社のスタッフ(パイロット、客室乗務員など)の勤務管理をすることで人材を効率的に配置し、人件費を大いに節約しています。この例のように、人間のあらゆるオペレーション(活動)に関わる意思決定を支援するということが、オペレーションズ・リサーチという学問になります。

授業への取り組み

私自身は、数理科学やオペレーションズ・リサーチがデータサイエンスにおいて価値を生む要素だと思っています。データサイエンスは、データを自動処理するための情報学、データを統計的に処理する統計学の他に、数理科学で構成されます。このうち、集めたデータを人間にとって価値あるものにしていくのが私の専門である数理科学ですが、「情報デザイン演習」の授業のなかでこれを学生に紹介しています。また、データサイエンスの入門そのものは「データ分析と統計」で教授しており、これらの授業では Excel を使った演習を使って、回帰分析などの基本的な統計処理や OR の手法が身に付く内容となっています。後者の授業は履修人数が多い関係で教室を2つにわけて同時にオンライン授業をするという苦労もありましたが、学生からはおおむね好評でした。

ちなみに、現在、文部科学省では「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」を推進しており、これには「リテラシーレベル」と「応用基礎レベル」の2つのレベルがあるのですが、本学のカリキュラムを再構成すれば「リテラシーレベル」の認定が十分可能なレベルにあると考えています。私自身は、本学においてデータサイエンスを広く普及させたいという気持ちで日々取り組んでおり、学生たちには社会に出てからも基本的なデータを操ることができる人材に育ってほしいと願っていますし、現にそんな人材が求められています。

学生に望むこと

今の学生に望むことは、「自主性」です。"好きこそものの上手なれ"とはどの時代にも言えることですが、中学や高校とは違って、大学では生活面も含めた自己管理が求められ、その責任もまた自分が負わなければなりません。ところが、そうしたことが得意ではない学生がまだまだ多いように感じています。社会に出たら自分のことを面倒見てくれる人は誰もいないという意識が大切であり、自主性が社会に出てからも大いに役立つわけですから、日々そうした意識で過ごしていただけたらと願っています。



ILA(国際リベラルアーツ)コース 人文科学専攻

小田桐ジェイク 助教

プロフィール 大阪大学大学院文学研究科博士後期課程 修了 博士(文学)

専門分野 日本近代文学

専門について

専門は日本近代文学です。特に太宰治を中心に研究しています。更に狭い範囲で言えば、書物学・書誌学です。つまり、日本近代文学(太宰)を書物の観点から見直すのが目的ですが、本来なら見ることができない歴史が書物という形をとって見えてきます。印刷や製本、表紙、装幀デザインというあまり注目されていない視点、立場から書物を見直すことで、当時の読者層及び社会情勢を捉え直すことが可能になります。

例えば、1943年1月に出版された太宰治の作品集『富嶽百景』(新潮社)を分析していると、奥付に印刷された刊行部数から出版社の意向が見えてきます。出版された時代が戦時中という事実を踏まえると、当時本を買える層は限られており、当時太宰は一般に著名な作家ではありませんでした。しかし新潮社は1万2千部という大部数で出版しており、新潮社が太宰を「売れる」作家と見ていたことと、当時の暗い世相の中で活字を大衆に送り出したかったことが窺えます。

また、初版本は貴重な周辺情報を持つ原資料であり、版を重ねたり全集に収録されたりする過程の中で変遷したり抜け落ちていったりする部分があるため、原典そのものに実際に触れることが重要です。

授業へのこだわり・目指す理想像

私の授業では学術的に文学作品を 解釈するために、歴史的背景の認 識や言語への関心を重視していま す。文学と文化の主に2つの分野を教 えていますが、文学について学ぶ時も、 当時の文化や社会情勢を知っておく ことが大切です。文学作品を正しく 理解するために、当時の物事を視 野に入れて考えてほしいというの がこだわりの1つです。例えば明 治の文学を読む時には、明治とい う時代を知っておかなければ作品 の本質を読み取ることはできませ ん。もう1つのこだわりは日本語力で、 作家の表現や作品の文章を正しく理解するた めに、日本語のレベル向上が必要です。

日本人であっても留学生であっても、日本語力、特に 自分自身の表現力を磨くことを意識してほしいと思い ます。

ILAコースにおける自分の役割

ILAに所属していますが、英語教育や英語で教育する立場ではありません。言語にこだわらず教育や研究を大切にしたいと思っており、英語人材だけではなく、グローバル人材というものについて常に考えています。私の研究はまずは日本語で発信する分野なので、常に第二言語で表現することになります。私自身が学生にとって、第二言語習得のロールモデルになれればいいと思っています。社会の基準について、自分自身が常に「これでいいのか」という疑いを持ち、常識を問い直すことで、ILAの内側から思考力を促す存在でありたいと思います。

ILAコースの学生について

非常に熱心で、いろいろなことに関心があり、積極的に取り組んでいます。英語以外の外国語への興味も強く、勉強とは異なる分野が相互に関わっていると理解しています。彼らは自分を取り巻く社会の常識について、枠組みを捉え直す視点があるように見えます。

ILAコースの学生に望むこと

積極的にいろいろな分野に関心を持ち、幅広い知識を 身につけ、論理的に考えることができるグローバル人材 になることが理想像です。その一つのきっかけが、懐疑 主義的に考えることだと思います。常に「これでいいのか」 という意識で物事に臨んでいくことが望ましいです。

これからILAコースに入ってくる皆さんに一言

本をたくさん読んでほしいです。文学、哲学、社会学、何でもいいので、大学に入る前にはもちろん、また入った後も、積極的に多く分野のものを読んでほしい。そうすると苦手な分野でも役に立つはずです。知識は最終的に、人生における武器になります。





English Summer Camp 2022開催

2022年8月11日(木)と12日(金)に高校生を対象としたEnglish Summer Campが本学キャンパス内にて開催され、 15名の生徒たちが英語漬けの2日間を過ごしました。本誌ではその中から3つの授業についてご紹介します。



議論を行う Andrew Tyler 助教

授業紹介

Humanities Seminar Introduction 講師: Andrew Tyler 助教

この授業では、リベラルアーツ教育の意義について講義を 行いました。

近年、日本中の多くの大学でリベラルアーツプログラムが創設さ れています。これらのプログラムの多くは国際的なものの見方やグ ローバルコミュニケーションといったものに重点を置いていますが、 リベラルアーツの本来の意味は、もっと根源的なものです。

リベラルアーツは古代ギリシャで生まれ、その後ローマ人によっ て採用され、中世ヨーロッパ全体で優れた教育法として実践され 続けました。その主な学問分野は数学、幾何学、天文学、音楽、 弁証法、修辞学、文法です。この中で、ルネサンス期には「四 科」よりも文法、修辞学、論理学の「三学」が優位に立つよう になった特徴があり、これが現在の人文学(人文科学)の源流 ともなっているのです。これらの学問を通し、自由人としての市民 は、徳を高めること、普遍的な教育を受けることが求められました。 こうして生成されていったのが、パイディア(教養)という教育だっ たのです。

リベラルアーツ教育の本質的な目的は、自由市民が社会の有 能な構成員となるために必要な技術を身につけさせることでした。 私たちが今人文科学として知る学問はルネッサンス期以降、人々 をより文化的で国際的な人間に育てることを目的に加えられました。 今日においてもリベラルアーツが価値を持つのは、それが人々に 批判的に思考することを教え、社会の問題を創造的な方法で解 決するために役立つことに繋がるからなのです。

Film Studies Seminar Introduction 講師: Wiesenberg Sandro 助教

この授業では映像を見ながら、映画について学ぶことの意 味について講義を行いました。

私たちの日常生活はあらゆる種類の映像を見ることで構成されて います。これらの映像がどのように作成されているか、また何を意 味しているか、それらがどのように私たちに影響を与えているかを 理解することは、これまで以上に重要になっています。

"Film Studies" では様々な映画の映像を対象に、映像のショッ ト時間やサイズ、アングルなどを分析し、その映像がどのような印 象を観客に伝えようとしているか、監督の意図を考察します。例え ば、クローズアップした映像は人物の細かい表情を映し出し感情を より微細に伝え、遠めに距離をとった映像は場面の状況を説明す るなど、対象との距離によって観客への伝わり方も変わります。ロー アングルから人物を撮ることにより、映し出された人物が強い権力 を持つことを観客に伝えたり、カメラの視点に動きを出すことでアク ションの臨場感を表現したりするなどの効果があります。映像は偶 然の結果ではなく、必ず監督の意図がその映像には反映されてい ます。映画の映像が表している意味を学ぶことにより、私たちは様々 な映像に含まれる監督の意図を知ることができます。

娯楽として映画を見るのもいいのですが、映像の持つ意味をより 深く理解し、積極的に知的活動を行うことで、映画という芸術にも う一つの楽しみが加わり、ひいては日常生活も豊かになるのではな いでしょうか。

Japanese Business Leaders 講師:中野 千秋 教授

この授業では、世界的に有名な経営者である松下幸之助を 扱い、英語の動画で彼のライフヒストリーを追いながら人物像 に理解を深め、経営学の一端について触れました。

0:この授業のポイントは?

A:英語を学ぶと世界が広がります。しかし、ただ英語ができるように なるだけではなく、英語で何を学ぶかが重要です。肝心なのは英語 で何を伝えたいかだと思います。そこを充実させるために大学で学 びます。今回は専門の経営学について英語で学びました。今回松 下幸之助を選んだ理由は、経営学はお金儲けの勉強と思われがち ですが、日本にも立派な志を持っている企業があることを伝えたかっ たからです。そういう企業が日本にもっと増えてほしいという自身の 思いがあります。高校生対象の入門講座ですので、経営のフレー バーを感じて経営学がどのようなものか味わってくれたらいいと思い

Q:参加者の皆さんはどのような様子でしたか?

A:英語の理解も非常に優秀で、みんな活発に答えてくれました。授 業前に少し話をしたところ、みんな高校1.2年生ということで、若さを 感じました。ぜひこの大学を選んでここで学んでくれたら嬉しいです。



本学では学内でアクティブラーニングなど新たな教育の手法を共有するという観点から、全専任教員を対象とした授業研究会を毎月1回実施しています。研究会では発表者が報告する授業実践の工夫や課題について、教員たちが活発な議論を交わしていま す。今回は2022年度の研究会について報告します。

4月28日開催 小孫 康平 教授

【略歷】国立特殊教育総合研究所教育工学研究部主任研究官、 皇學館大学大学院教育学研究科教授

【学位】博士(学術)立命館大学、博士(学術)東北学院大学

【専門分野】教育工学、デジタルゲーム学、生理心理学



わかりやすく、やる気を起こさせる授業とは

今回の授業研究会では、わかりやすく、やる気を起こさせる授業について発表した。具体的には、①スキーマ を呼び出しやすい授業を行うために、前回の授業の復習を必ず入れる。②教員の持っているスキーマと学生の 持っているスキーマとでは違うので、学生の持っているスキーマをチェックすることの重要性について説明した。次 に、教室での教員の非言語コミュニケーションは、思考や認知など、様々な影響を学生に与えるので、講義を行 う上で無視できない。今回は、「うなずき」や「瞬き」の応用について述べた。特に、「瞬き」は授業に集中し ているかの指標となることについて詳しく説明した。また、学生たちにやる気を起こさせるケラー教授の「ARCS 動機づけモデル」(Attention (注意:面白そうだ)、Relevance (関連性:やりがいがありそうだ)、Confidence

(自信: やればできそうだ)、Satisfaction (満足感: やってよかった)) について紹介した。授業を面白くするためには、特に「揺さぶる発 間 | が効果的である。さらに、教員はメタ認知やワーキングメモリの重要性をよく理解しておく必要があることについても言及した。

【略歴】東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学専攻修士課程修了、

尚美学園大学名誉教授

【学位】博士(農業経済学)

【専門分野】 フードマーケティング フードシステム

授業改善アンケートから見た授業運営



担当している授業が、学生にどのように受け入れられているかについて、授業運営センターから送られてきた 授業改善アンケートの個票データに基づいて振り返った。なお、対象とした授業は、地域経営論、流通の経済1①、 ビジネス実務、地域の企業と経済(経済史2)、地域経営論 B (地域デザイン B)、流通の経済2①、マネジメ ント特論①、である。授業改善アンケートは、1・2回目: 簡易版。授業5・10回目で実施、3回目: 詳細版。授 業15回目で実施、である。

1回目・2回目アンケートで授業毎の平均値(適切度合いを尋ねた回答の単純平均値)を比較したところ、演 習形式をとった授業では、問題の解き方に慣れたことによって。平均値が上昇したが、途中からグループワークを

実施した授業では、逆に平均値が下降した。3回目アンケートで20項目間の平均値(肯定度合いを尋ねた回答の単純平均値)を比較し たところ、板書の仕方、学生への積極的な参加意識の醸成で相対的に低かったので、今後工夫すべきであることが分かった。

【略歷】東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程修了、 (株)日立製作所日立研究所主管研究員、鳥取大学大学院教授

【学位】工学博士

【専門分野】ディジタル信号処理、位置情報処理、最適化理論

授業の取り組み等について

前期の授業の総括:ティーチングポートフォリオで自身の教育の理念を文章化することは教育の本来の目的を再 確認するために重要であった。授業アンケート結果に関しては20人規模のクラスの授業では平均4.3~44の結 果が得られたが、50人規模で、演習を伴う授業では学生の進捗の差が大きく、評価の平均も3.7であり授業方 法に課題を残したと説明があった。

良い授業とは:初回の授業が重要で、適切な学生へのフィードバック、学生の名前を覚えることで学生が教 員に気にかけてもらっていると意識させること、 成績評価方法のシラバスとの整合性の遵守、 進捗状況によっては シラバスを修正し、学生に周知することが必要であることなど、日頃留意している事項について説明があった。

その後、会場の教員からの質疑応答が活発に行われた。

9月29日開催 横澤 一彦 教授

【略歷】東京工業大学大学院修了、東京大学人文社会系研究科教授

【学位】 丁学博士

【專門分野】認知科学、認知心理学

見るとか、聞くとか、触るとかという知覚は日常的な行動であり、自分自身の仕組みについて、誰でも一定の理解 ができていると思っているのだが、大きな説明深度の錯覚がある。研究と教育の共通性への気づきとして、説明深 度の錯覚の解消、すなわち知っているつもりの解消の重要性を感じ、アクティブ・ラーニングの一種である発見学習 を、担当講義の1つである視覚心理学において積極的に取り入れた。発見学習とは、規則性や関連性などを自ら 発見していく学習方法であり、学習者が一つの結論を学ぶだけではなく、その結論ができあがってくる過程に参加 する学習である。例えば、眼が動いてもぶれない訳とか、両眼が横並びの理由とか、マジックで引っ掛かる訳とかを、 デモで実体験してもらうことで、すでに持っている自分自身の仕組みに関する知識をさらに深めたり、多種多様な状

況や文脈のもとで適切に知識を活用できたりするように変えていく知識の再構成が可能になる。受講生の評価も高く、初めて知ったことが一番 多い授業とか、実際に体験しながら多くの現象を学んだため、この分野についてたくさんのことを知ることができたなどの感想があった。

5